第 3 章　2023 年透析導入患者の動態

1. 臨床背景

2023 年の患者調査票において，年齢と性別の記載が確認された導入患者数は 36,115 人であった．男性は 25,193 人，女性は 10,922 人で，導入患者の平均年齢は全体が 71.59 歳，男性が 70.93 歳，女性が 73.12 歳であった（**図 14**，**補足表 14**）．導入患者の平均年齢も慢性透析患者と同様，年々高齢化している（**図 15**，**補足表 15**）．最も割合が高い年齢層は，男性が 75～79 歳で，女性は 80～84 歳であった．

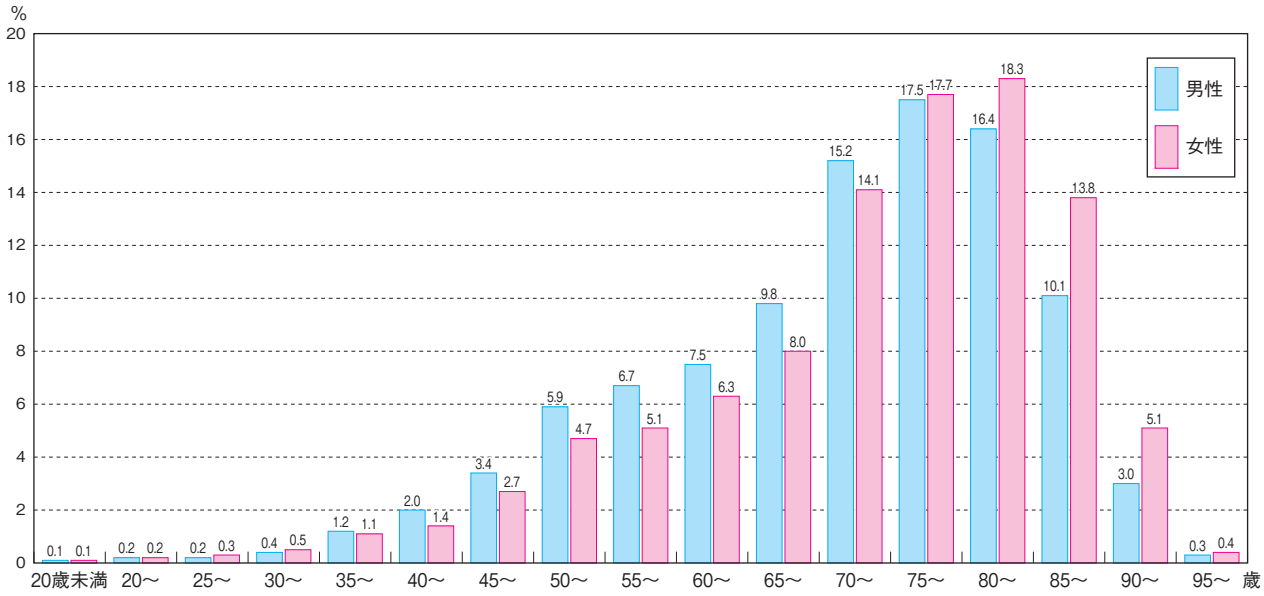

図 14　導入患者　年齢と性別，2023　（患者調査による集計）

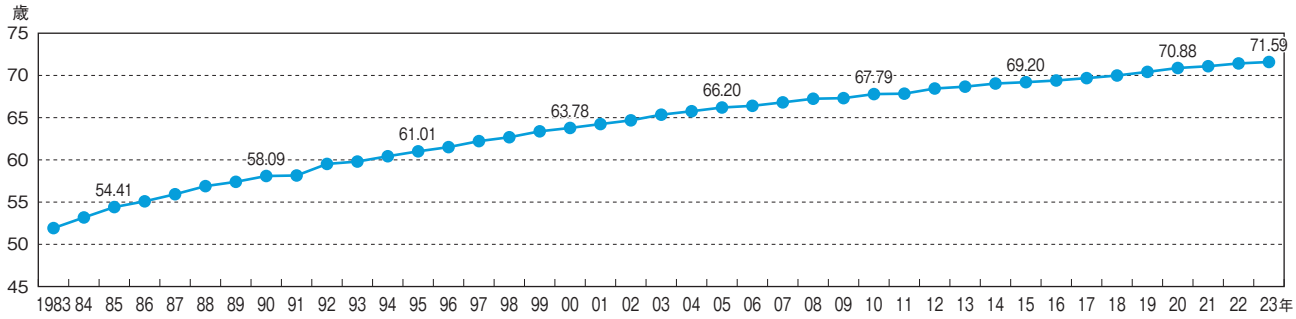

図 15　導入患者　平均年齢の推移，1983-2023　（患者調査による集計）

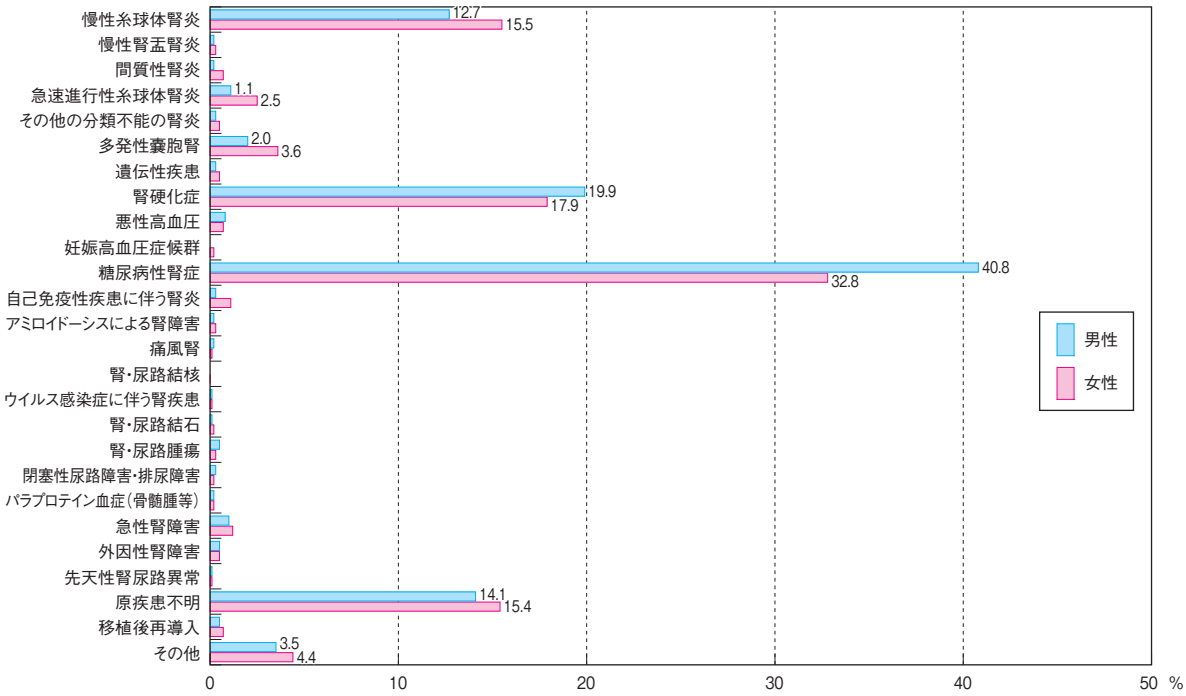

図 16　導入患者　原疾患と性別，2023　　（患者調査による集計）

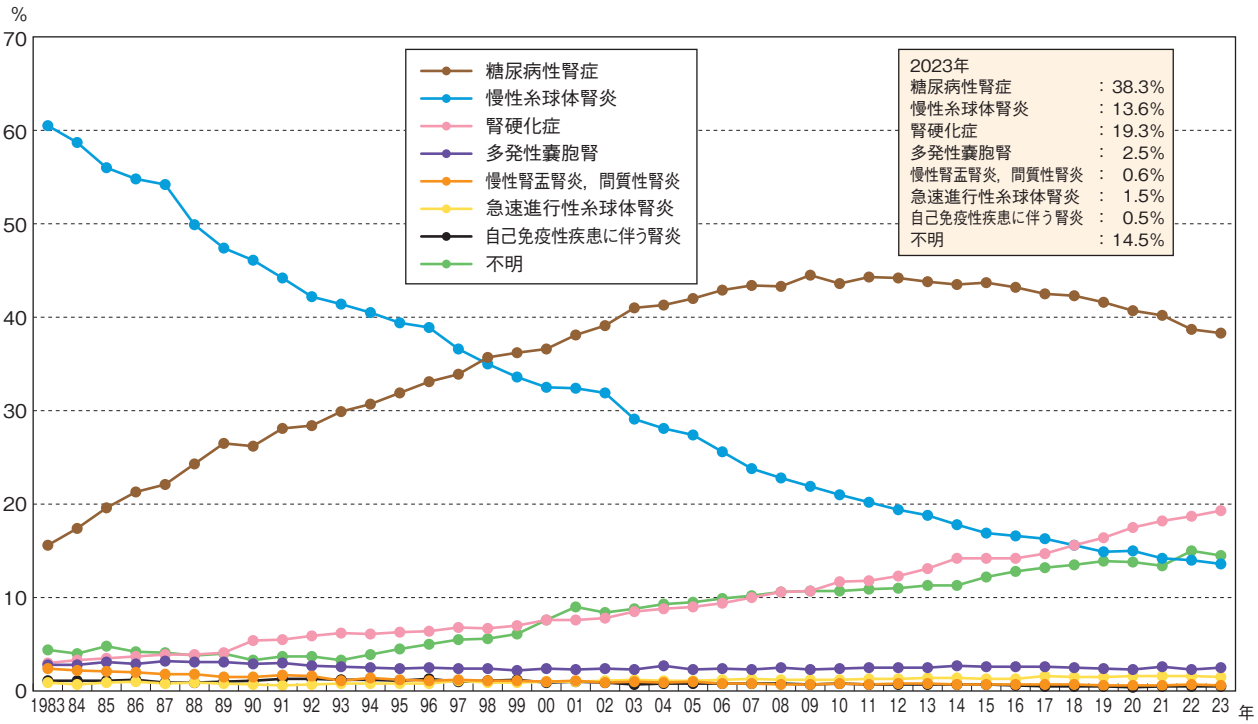

図 17　導入患者　原疾患割合の推移，1983-2023　　（患者調査による集計）

2023 年導入患者の原疾患で最も多いのは糖尿病性腎症で 38.3%，次いで腎硬化症の 19.3%，慢性糸球体腎炎の 13.6%であり，2019 年に腎硬化症が慢性糸球体腎炎に代わって第 2 位となって以降も，腎硬化症の持続的な増加が目立つ．原疾患不明は 14.5%であった（**図 16，補足表 16**）．導入患者の原疾患は，1998 年に慢性糸球体腎炎に代わって糖尿病性腎症が原疾患の第 1 位になって以来，一貫して増加していたが，近年は慢性糸球体腎炎と同様に減少傾向が続いている（**図 17，補足表 17**）．

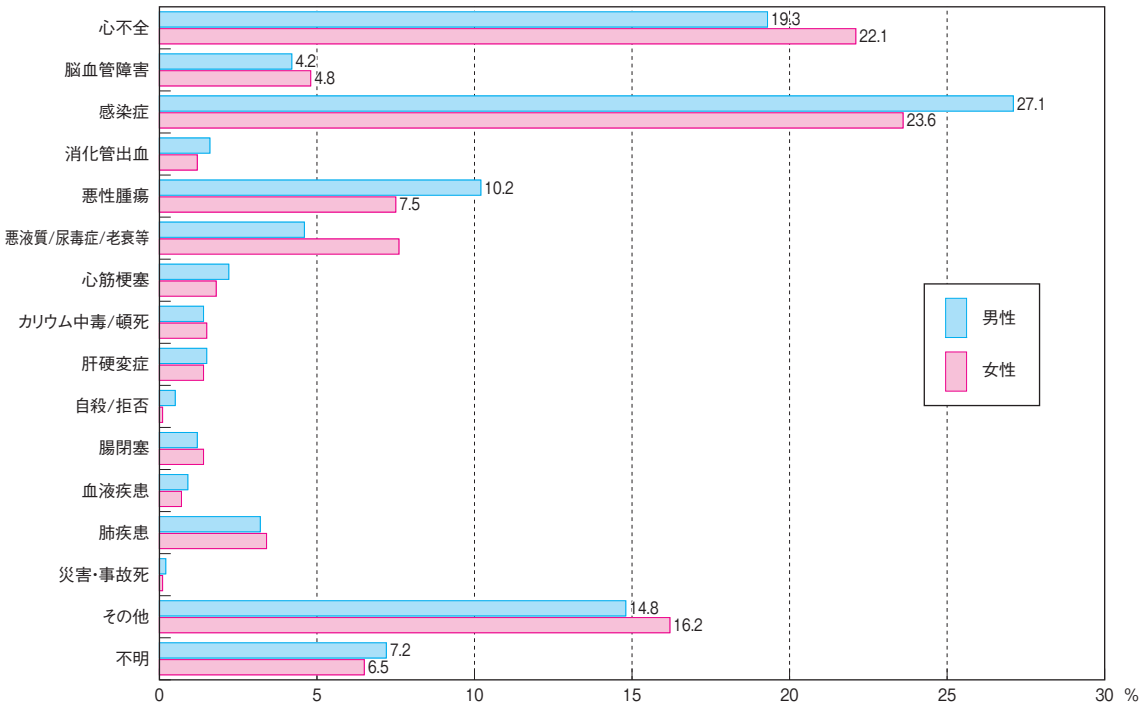

図 18　導入患者　死亡原因と性別，2023　（患者調査による集計）

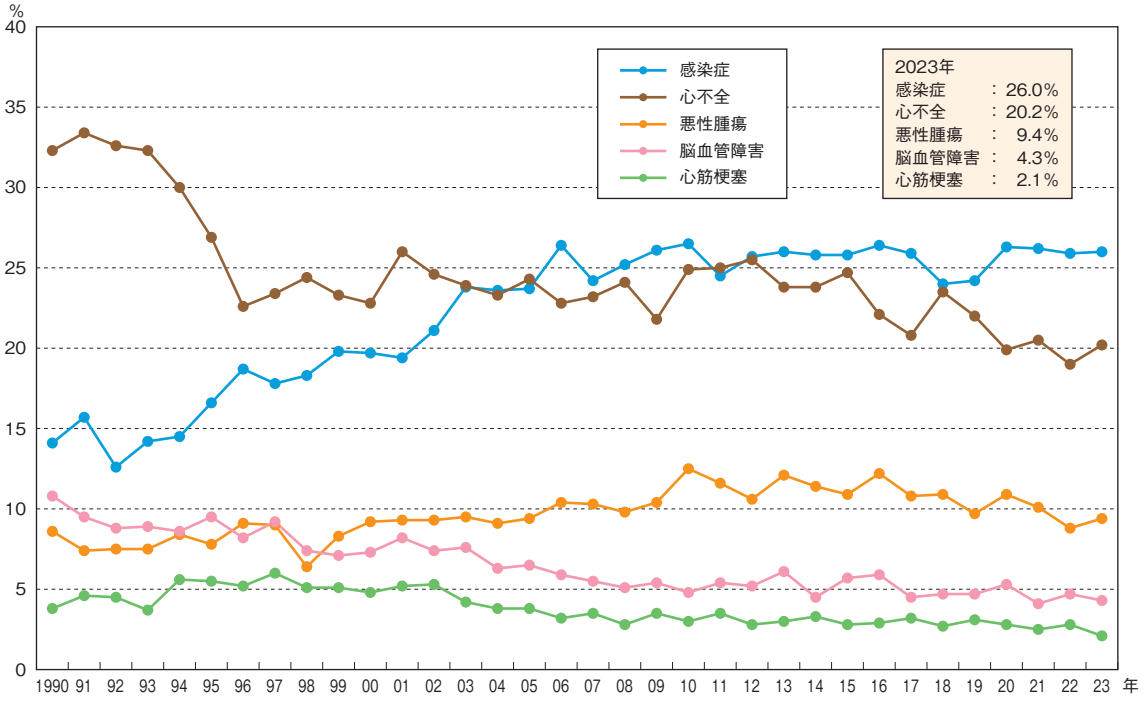

図 19　導入患者　死亡原因割合の推移，1990-2023　（患者調査による集計）

2. 死亡原因

2023 年導入患者の導入年内の死亡原因は，全体では感染症が 26.0%と最も多く，次いで心不全が 20.2%，悪性腫瘍が 9.4%，悪液質/尿毒症/老衰等が 5.5%，脳血管障害が 4.3%であった．心血管死の合計は 26.6%であった（**図 18，補足表 18**）．透析導入年内の死亡原因の推移をみると，1990 年代は心不全が最も多かったが，感染症が徐々に増加し，2006 年頃から感染症が最も多い死因となった．脳血管障害による死亡は，2006 年以降 4～5%を推移している（**図 19，補足表 19**）．